

ニャンダフル

特別展

浮世絵ねこの世界展

国芳、広重、国貞、豊国、英泉…

江戸・明治の浮世絵師たちが描く



人気が高まっている猫。江戸時代にはすでに多くの人々の懐にもぐり込み、広く親しまれるようになっていました。浮世絵の題材にも取り上げられ、当時一大ジャンルであった美人画に登場してからは、擬人化され役者絵やおもちゃ絵に登場したり、おどろおどろしい化け猫として人々の背筋をゾクッとさせたりと色々な活躍を見せます。本展では、大の猫好きで知られる歌川国芳をはじめ広重、国貞、豊国、英泉ら浮世絵師の個性を楽しむとともに、人々が猫とどう関わってきたのか、また人が猫にどのようなイメージを持っていたのかを読み解きます。また大阪会場特設コーナーとして、飼いや猫の取り扱いに関する古文書や江戸時代の土人形といった資料も紹介します。



歌川芳藤「五拾三次之内猫之怪」



歌川広重「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」



月岡芳年「東京自慢十二月 六月入谷の朝顔 新ばし福助」



四代歌川国政「新板猫の花見」

関連行事

学芸員によるプレ講座

- 令和元年6月29日(土) 「古代中国のネコとヒト」 村元健一(当館学芸員)
 - 令和元年7月6日(土) 「都市のなかのネコ～近世の京都・大坂を中心に～」 大澤研一(当館学芸員)
 - 令和元年7月13日(土) 「姿を写し取る～ネコの土人形～」 安岡早穂(当館学芸員)
- [時間] 午後1時30分～2時30分(受付:午後1時～) [会場] 大阪歴史博物館 4階 講堂
[定員] 250名(当日先着順) [参加費] 各回200円

講演会「浮世絵にみるネコの生態学」

- [日時] 令和元年8月3日(土) 午後1時30分～3時(受付:午後1時～)
- [講師] 山根 明弘氏(西南学院大学 人間科学部教授)
- [会場] 大阪歴史博物館 4階 講堂 [定員] 250名(当日先着順)
- [参加費] 300円(特別展の観覧券もしくは半券提示の方は無料)



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662
http://www.mus-his.city.osaka.jp/



電車・バスでお越しの方
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」②・③号出口
シティバス「馬場町」バス停前